

講義名	医療経済論			授業形態	
担当教員	中島 孝子	開講期・曜日・時間	前期 火曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

主題と概要

「疾病と貧困の悪循環」という言葉があります。疾病が貧困をもたらし、貧困が健康を妨げるという意味です。こうした「悪循環」を防ぐために日本では公的医療保険制度がとられています。本科目では公的医療保険制度の仕組みに注目して、医療経済学におけるトピックを学習します。

医療保険制度としての保険に関する問題について学習します。はじめに医療サービスの特徴について学び、次いで、医療サービスの需要と保険について理解したあと、保険の特徴をいくつかの側面から考えます。そのほか、日本の医療制度と国民医療費の推移、医療制度の国際比較、および医療提供体制について学びます。

到達目標

- ・医療経済論での学びを通じて、以下のトピックについて、現実に採用されている制度、理論的問題および実証研究の結果などについて理解できるようにする。
- 日本の医療制度と国民医療費
- 医療サービスの経済学的特徴
- 保険の仕組みと公的医療保険
- 医療制度の国際比較
- 医療提供体制
- ・目標 に関する学びを通じ、医療制度やその経済的意義を理解し、医療制度が持つ社会的な課題を発見することができるようになる。
- ・目標 に関する学びを通じ、日本および世界の医療制度の長所短所などの特徴を理解し、日本の制度について課題を発見し解決する手がかりを得ることができるようになる。

提出課題

提出課題を課すことがあります。詳細は授業中に指示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出後、原則として登壇以降に解説や講評を行います。

評価の基準

成績は100点満点で評価し60点以上が合格です。
配分は平常点（提出課題等）10%、中間評価30%、定期試験60%です。
昨年は履修登録者の95%が定期試験を受験し、その83%が合格しました。

履修にあたっての注意・助言他

経済学の入門レベルの科目を修得していることが望まれます。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

.医療の経済学（第4版）、	河口洋行	日本評論社	2500	9784535559
.医療経済学講義 補訂版。	橋本・泉田編	東京大学出版会	3520	9784130421423
.医療経済学15講。	細谷・増原・林	新世社	2640	9784883842843

その他

必要に応じて資料を配布します。
上の参考文献に加えて、本科目の履修において有用な文献をあげます。
漆博雄「医療経済学」東京大学出版会 1998年
池上直司「日本の医療と介護」日本経済新聞出版社 2017年
井伊雄子「日本の医療と介護」新経済新聞出版社 2017年
後藤助・井深陽子「健康経済学 市場と規制のあいだで」有斐閣 2020年

授業計画

- 01 医療サービスとは(1) 医療サービスの特徴1(サービスのとしての医療)
授業後、以下のことをおこなってください(4時間)。
授業後、4時間を目安に以下のことをおこなってください。
(1) 配布資料を用いて授業内容を復習する。
(2) 政府や医療機関、患者等の動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
(3) (2)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 02 医療サービスとは(2) 医療サービスの特徴2(不確実性、情報と主体)
授業後、以下のことをおこなってください(4時間)。
(1) 配布資料を用いて授業内容を復習する。
(2) 政府や医療機関、患者等の動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
(3) (2)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 03 医療サービスとは(3) 医療サービスの特徴3(公共性、競合性と排他性、外部性など)
授業後、4時間を目安に以下のことをおこなってください。
(1) 配布資料を用いて授業内容を復習する。
(2) 政府や医療機関、患者等の動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
(3) (2)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 04 医療サービスの需要(1) 需要の不確実性と保険1 保険原理
授業後、4時間を目安に以下のことをおこなってください。
(1) 配布資料を用いて授業内容を復習する。
(2) 政府や医療機関、患者等の動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
(3) (2)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 05 医療サービスの需要(2) 需要の不確実性と保険2 保険加入のインセンティブ
授業後、以下のことをおこなってください(4時間)。
(1) 配布資料を用いて授業内容を復習する。
(2) 政府や医療機関、患者等の動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
(3) (2)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 06 医療サービスの需要(3) 情報の非対称性：逆選択
授業後、以下のことをおこなってください(4時間)。
(1) 配布資料を用いて授業内容を復習する。
(2) 政府や医療機関、患者等の動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
(3) (2)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 07 医療サービスの需要(4) 国民皆保険 モラル・ハザード
授業後、以下のことをおこなってください(4時間)。
(1) 配布資料を用いて授業内容を復習する。
(2) 政府や医療機関、患者等の動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
(3) (2)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 08 中間評価
授業後、以下のことをおこなってください(4時間)。
(1) 配布資料01-07および中間評価を用いて授業内容を復習する。
(2) 政府や企業の活動、市場の動向などに関心を持ち、メディアを通じて情報収集をする。
(3) (2)で収集した情報に対し、第1-7回に学んだことを適用して考える。
- 09 国民医療費・介護費用の動向(1) 医療保険制度、国民医療費等
授業後、以下のことをおこなってください(4時間)。
(1) 配布資料を用いて授業内容を復習する。
(2) 政府や医療機関、患者等の動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
(3) (2)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 10 国民医療費・介護費用の動向(2) 伸び、医療費はどこまで増やせるか等
授業後、以下のことをおこなってください(4時間)。
(1) 配布資料を用いて授業内容を復習する。
(2) 政府や医療機関、患者等の動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
(3) (2)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 11 医療制度の国際比較(1) 医療保険制度の類型1 社会保険方式
授業後、以下のことをおこなってください(4時間)。
(1) 配布資料を用いて授業内容を復習する。
(2) 政府や医療機関、患者等の動向に関心を持ち、メディアを通じて情報収集する。
(3) (2)で収集した情報に対し、学んだ内容を適用して考える。
- 12 医療制度の国際比較(2) 医療保険制度の類型2 NIS方式と私的保険方式

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目における学びを通じ、人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成果の基礎を身に付け、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察し、課題を提案することができるようになる。具体的には次の2点である。
・医療制度やその経済的意義を理解し、医療制度が持つ社会的な課題を発見する。
・日本および世界の医療制度の長所短所などの特徴を理解し、日本の制度について課題を発見し解決する手がかりを得る。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中のアンケートなどにクリックカーを使用します。

実務経験の有無及び活用

備考